

水泳・水球 NO.84

大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会水球競技



水球競技試合結果表

令和5年8月20日

ゲームNo 20

会場 札幌市平岸プール

審判1 深谷 周平

審判2 黒崎 千智

白

青

鳥羽

13

2 - 2
2 - 3
3 - 3
6 - 4
PSO

12

四日市中央工

34

PF	G	選手名	位置	選手名	G	PF
1		西河 拓郎	1番GK	尾上 黎真		
	3	飯島 颯大	2番	庄山 優	1	1
1	3	岡本 宝生	3番	森田 隼平	1	
2	1	中西 大海	4番	佐々木 蒼太	2	1
1	4	井上 皆	5番	園田 晴大	2	1
		官川 朗	6番	松田 弦皇	3	1
3		藤原 崇充	7番	園田 晶悟	1	
		井上 恵輔	8番	市川 皓己		
2	1	本部 颯汰	9番	山本 凌太郎	2	
	1	渡邊 陽太	10番	山崎 唯		
1		山本 駿	11番	小坂 悠哩		
		園 昊乃輔	12番	伊藤 絆夏		
		細川 貫志	13番	湯浅 心晴		

競技開始 10 時 40 分
競技終了 11 時 41 分

プールコンディション

水温 27.3 °C

気温 29.0 °C

12 時現在

記入者 竹内 陽子

点検者 伊藤 知春

水泳・水球 NO.62の訂正です

令和5年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会
第91回日本高等学校選手権水泳競技大会（水球）

水球競技戦評

期日：令和5年8月20日（日）

会場：札幌市平岸プール

ゲームNo.

20

帽子の色 白

帽子の色 青

鳥羽

四日市中央工業

1 3

1 2

2 - 2
2 - 3
3 - 3
6 - 4

PSO

審判1：深谷 周平

審判2：黒崎 千智

戦評

19年ぶり5回目の優勝を目指す京都府立鳥羽高等学校と2年ぶり2回目の優勝を目指す四日市中央工業高等学校の対戦。

第1ピリオド、青、四日市中央工業からのセンターボールで試合開始。6分43秒青9番山本がカウンターから得点。6分18秒白5番井上（皆）が回し込みからミドルシュートを決める。3分20秒白9番本部がカウンターから得点。2分26秒青5番園田（晴）がカウンターから得点。両チーム共にGK白1番西河、GK青1番尾上の好セーブが光るピリオドであった。

第2ピリオド、6分53秒青9番山本のシュートリバウンドに反応した7番園田（晶）が得点。6分33秒青9番山本が退水を誘発するも得点ならず。5分59秒青6番松田がカウンターから退水を誘発し、9番山本が得点。3分25秒白2番飯島が退水を誘発するも得点ならず。2分16秒青6番松田が退水を誘発し、3番森田が得点。鳥羽1回目のT0。2分白7番藤原が退水を誘発し、4番中西が得点。1分白5番井上（皆）がカウンターから得点。8秒青2番庄山が退水を誘発。四日市中央工業は1点をリードし、第3ピリオドを迎える。

第3ピリオド、7分25秒白3番岡本がカウンターから得点。7分3秒青6番松田が退水を誘発し、7番園田（晶）のナイスアシストにより、6番松田が得点。6分35秒白2番飯島がゴール前から得点。6分21秒青7番園田（晶）が退水を誘発するも得点ならず。5分53秒白5番井上（皆）がフリースローシュートをゴールに突き刺す。3分55秒青4番佐々木が回し込みから退水を誘発後、続けてPSを誘発し得点。1分48秒青4番佐々木が退水を誘発し、6番松田が得点。

第4ピリオド、6分27秒青4番佐々木が退水を誘発し得点。5分50秒白10番渡邊が退水を誘発するも得点ならず。5分23秒青5番園田（晴）がカウンターから得点。4分56秒白3番岡本がシュートのこぼれ球に反応し得点。4分29秒白5番井上（皆）カウンターから得点。4分9秒青4番佐々木が退水を誘発し、2番庄山が得点。3分12秒青6番松田回し込みから得点。2分58秒白5番井上（皆）からゴール前で打点の高いパスを受け、3番岡本が得点。2分27秒白9番本部が退水を誘発し、2番飯島が得点。1分39秒白10番渡邊がカウンターから得点。鳥羽の流れを止めるべく、四日市中央工業が立て続けにT0。7秒白2番飯島がゴール前でバックシュートを決める。上記より、鳥羽が19年ぶり5回目の優勝、四日市中央工業が準優勝となる。

ディフェンスからのカウンターアタックのスピード、個々の技術、GKのセーブ力、両校共にすべての技能が輝く試合で会場が沸いた。試合後、選手同士が互いを称賛し合う姿は全国高校総体決勝の舞台に相応しい光景であった。

記録者

今崎哲也・白濱健太・菅原剛